



平成 30 年 8 月 19 日

**上映会「彼らが本気で編むときは、」及び
講演会「『いない』のではなく『気付いていない』だけ?～性の多様性と人権」を実施しました**

平成 30 年 8 月 19 日、中央図書館ほんぽーとビーンズホールで上映会「彼らが本気で編むときは、」と、トランスジェンダー活動家の杉山文野さんによる講演会「『いない』のではなく『気付いていない』だけ?～性の多様性と人権」を開催しました。

杉山さんは 1981 年東京都新宿区生まれでフェンシング元女子日本代表。早稲田大学大学院でジェンダー論を学んだあと、その研究内容と性同一性障害と診断を受けた自身の体験を織り交ぜた「ダブルハッピーネス」を出版すると、同じように悩む当事者から多くのメールが寄せられたといいます。



講演で杉山さんは、ご自身の生き立ちや苦悩、渋谷区の同性パートナーシップ証明書発行に携わった経緯や経験などを話した上で、当事者以外でもできることとして、周りが LGBT に対してウェルカムであることをカミングアウトする『ウェルカミングアウト』を提唱。「当事者のことでわからないことは『わからない』と言うことが、みんなにとってよい答えを出すことにつながるはず」と話しました。

映画「彼らが本気で編むときは、」

優しさに満ちたトランスジェンダーの女性（生田斗真）と彼女の心の美しさに惹かれすべてを受け入れる恋人の男性（桐谷健太）。そんなカップルの前に現れた愛を知らない孤独な少女の3人がそれぞれの幸せを見つけるまでの心温まる60日間を描いた映画。



NIIGATA CITY

【問い合わせ】新潟市男女共同参画課 電話：025（226）1061 メール：danjo@city.niigata.lg.jp

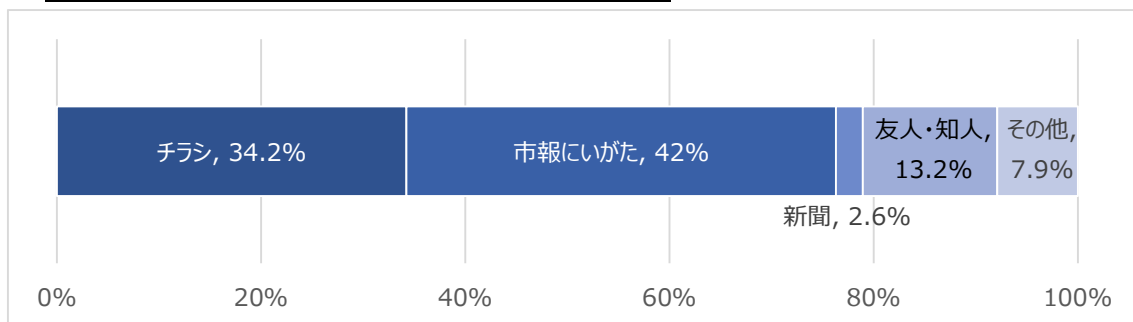
■6色レインボーは性的少数者の尊厳と社会活動の象徴…赤：生命、橙：癒し、黄：太陽、緑：自然、藍：調和、紫：精神

平成 30 年 8 月 19 日

杉山文野さん講演会 アンケート

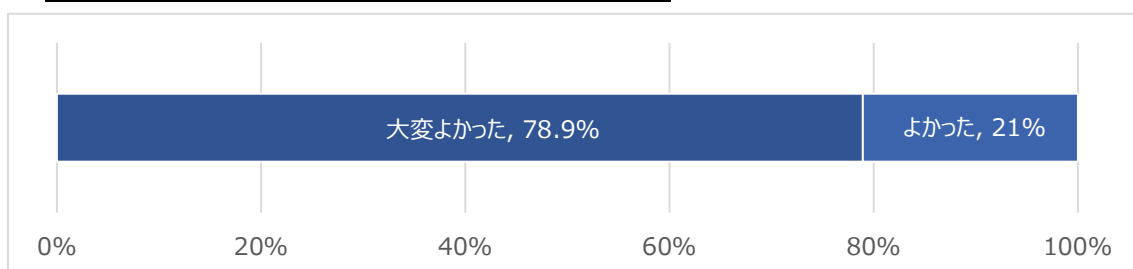
問 1 この講演会をどこでお知りになりましたか。

チラシ	13	34.2%
市報にいがた	16	42.1%
メール	0	0.0%
新聞	1	2.6%
友人・知人	5	13.2%
その他	3	7.9%



問 2 講演はいかがでしたか。どのようにお感じになったかについても合わせてお聞かせください。

大変よかった	30	78.9%
よかった	8	21.1%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%



- トランスジェンダーの方の苦勞が知れた
- 杉山さんのテンポのよいトークで現実と自分の感覚の差にずっと気付けた
- 新潟市にも同性パートナーシップ（世田谷方式）を導入してほしいなど改めて思いました。
- 杉山文野さんのご自身のお話が大変わかりやすく、またパートナーシップ制定のプロセスも知れて、勉強になりました。スライドも大変わかりやすく興味深かったです。
- 杉山さんのお話し、すばらしかったです。彼の話し方、パワーに引き込まれました。きっと話し足りなかったのだと思います。是非またお会いしたいです。
- 会話での言葉選びの大切さを改めて感じました。
- 杉山さんのお話はわかりやすく聞きやすく飽きさせない展開でとてもよかったです
- 講演は楽しかったですが映画を観ただけでなんだか疲れてしまい、ウトウトしてしまいました。別々が良かったかもしれません。午前と午後とか。
- 杉山さんのこれまでの歴史を知り、カミングアウトまでの困難やそれ以後の活動に感銘を受けました。
- 自殺を考えてしまうほどの辛さがあると知らなかったことを恥じています。性的マイノリティが、その人の一部として当たり前前に認識される世界に早くしたいと思いました。
- 「生きづらさをなくして行きたいだけ」との言葉が印象的だった。
- 息子が FtM です。悩んでいたころに杉山さんが TV に出ておられ、自分だけではない安心感を保てました。杉山さんにお会いできてお礼が言えてよかったです。
- LGBT という言葉をぼんやりとは知っていましたが、今回お話を聞いて、もう一歩理解できたかなと思いました。まだ奥深そうです。
- もっと当事者について学び、当事者たちの支えになりたい。今後もこのような機会を得られることを切に願う。LGBT フレンドリーな国にしていくには、LGBT について理解している人を増やしていくことが第一歩だと思う。
- 当事者のお話は具体的であり、トランスジェンダーがどのようなものか分かった気がする。
- 内容は大変よかったが、映画時、部屋が真っ暗になるともっとよかった。できれば無料駐車場のある会場だと嬉しいです。
- いかに異なった感覚になるのか分かった気がする（性同一性障害）原因を解明し早急に対処しないと気の毒。

- 少し早口で聞くのに疲れた。
- このような講演は初めてでした。実際の困りごとなど、一緒に考えていきたいと思いました。
- 私の周りにもひたすらに隠している方がたくさんいるのだろうと思いました。自分の性や子育てについても改めて考える機会となりました。
- ウェルカミングアウトし、アライということを示したいと思いました。
- 理解が深まった。
- 当事者の話が聞いてよかった。わかりやすかった。
- 性の多様性について理解できた。身近なこととして感じられた。
- 説明としてはわかりやすかったが核心には触れていなかった
- 思っていた以上に身近な問題だということを知った。
- 抱えている問題が本人にとっていかに深く苦しいかということと、いかに周りが全然気づいていないかということがわかった。
- ご自身の体験を語ってくださったことで、内容がよく理解できました。どんなことが課題なのかを知ることができ、勉強になりました。
- 今まで気づいていなかっただけなんだと感じました。何の力にもなれないかもしれませんが、気付けるよう、共感できるようになりたいです。
- 映画がとてもよかった。講演会はせつかくの機会だったのでもっと時間があればゆっくりお聞きすることができたと思います。
- とても分かりやすいお話・資料で、当事者の心の葛藤、周囲の人がこれからどのように心構えや決意をしたらいいのかがよく分かりました。
- 当事者の実体験に基づいた話はよかった。

問3 性的マイノリティについて、市民の理解を深めるにはどのようなことが必要だと考えますか。

- 映画の上映会をするだけでも考える機会になります
- 映画が素晴らしい。もっと上映すべき。
- ここで上映した映画を市民映画館等で上映してもらい、多くの市民に見てもらおうのがよい。
- 市民向け講演会、学習会の実施、市報への情報掲載
- 講演会、参加型イベント、メディアでの正しい知識の共有
- 難しいですね…。深まる人と、全く深まらない人、ふざけ半分で知識を得れば逆に他の問題に発展しかねない内容だし…。
- ウェルカミングアウト！
- 実態を知らない人がとても多い。まるでそういう人がいないかのように暮らしている人たちにとって頻繁にこのような機会を設けることが必要かと。LGBT 以外でも自分の秘密を一生抱えて生きるのはつらいです。
- まずは教育だと思います。小学校できちんと教え、先生方が受け入れる心を持つことから始まると思います。大人に対して一斉の広報は難しいですが、大企業をはじめとして幹部向けの講演会の受講を義務化するのはいかがでしょうか。
- 少しでも多くの理解あるマジョリティーが自らの意思を表示すること。配布されたアライバッジを私もカバンに付けました。
- 渋谷区のような取り組み。
- 市内で活動されている Love 1 peace などをもっと広めてほしい
- 少しずつ長期的に広めていってもらうことが大切だと思います。映画上映含め、2度3度、機会が増えるだけでも良いかもしれません。
- 定期的に講演会を実施する。
- 人権週間時に市役所等にパネル掲示
- 公的な LGBT データの収集、調査の実施
- 学校でも授業内容等に盛り込む
- 困っている人がいるということを周知し続ける。このような講演はまたやってもらいたい。
- まだまだ認知不足です。講演会やセミナーなどで生の声を聴く機会がたくさんあるとよいと思う。知ることから始めなければ！

- もっと講演して話を聞かせてほしい。
- 今回のような研修や講演会があると理解が深まると思います。さらにもっと大きく・広くアピールしていただくとありがたいです。
- 幼いころからの環境が大事なので教育者・医療関係者などすべての人への周知が必要
- メディアなど目につく媒体でどういう子おとなのかをしっかりと伝える。
- 男女共同参画課だけでなく市民の身近にある公民館などで講演していくことで、市民に対し理解を深められると思う。
- 自然に任せる。
- 今回のような企画に参加してもらうこと。より具体的な内容の啓発。
- 人権に関する講座や講演会を学校や公民館などいろいろなところでやってほしい。
- 小中学校の時から正しい知識を得られるよう教育を行ってほしい。
- 講演会など
- 小さな子供のときに、大人に言われた言葉が大きく影響します。小学校の空き教室を活用し、話し合える時間を作れたらよいと思います。「みんな違って、みんないい」が大事です。
- 教育（学校・家庭）
- 今回のような機会が少しずつ増えていったらいいと思います。
- 今回のように上映会・講演会をセットにして、いろんな機会に開催することだと思います。知らない人も多いと思いますので。また、中高生の人権の授業に取り入れてもらいたいです。
- テレビで特集を組んで放送してもらおう。
- 家族でこのことについて話す機会をつくる。
- このような会を地道にコツコツ続けること。

問4 性的マイノリティをテーマに、今後聞いてみたい内容や講師名があればお書きください。

- 勝間和代さん（2）
- 東小雪さん
- 池田清美さん
- 南和行さん
- 石川大我さん
- いのうえけんとさん
- ロバート・キャンベルさん
- ミッツ・マングローブさん
- モンキー高野さん
- Kacco さん
- 村上裕さん
- 名取寛人さん
- 高橋佳生さん
- NPO 法人 SHIP
- 認定 NPO 法人 ReBit
- 弁護士または法学部の先生の話
- 当事者の老後
- 学校教育での話
- 仮の反論者とのディベート
- どのような発言が傷つけてしまうのか、その言葉は何に変えるべきなのかを具体的に学びたいです。
- 理解されないことで苦しんだ事例をもっと知りたいです。知ることで支えることもできると思います。
- 小学校・中学校でもこのような講演を聞けるといいなと思いました。特に若い世代の教育が必要と感じました。
- 今回の講師のお話をもう一度お聞きしたい。人間のすばらしさに感銘を受けました。

問 5 差支えなければ年代をお聞かせください。

10代	1	2.7%
20代	4	10.8%
30代	5	13.5%
40代	10	27.0%
50代	9	24.3%
60代以降	8	21.6%

